

# あなたに薦める『この一冊』11月

「自分だけの答え」が見つかる13歳からのアート思考  
末永幸歩[著] ダイヤモンド社

英語教諭 福島 伸典  
高校 1年7・8組 副担任



あなたの好きな教科は何ですか？  
僕が高校生の時はカナダの語学研修で英語が通じる喜びや楽しさを感じ始め、英語が好きでした。  
本のタイトルにもあるように「アート」と聞くと、少し気が引けるかもしれません。小学校図画工作から中学校の美術になると好きだったはずの教科が嫌いになってしまうからです。もちろん僕もそうでした。  
今までに「ロジカルシンキング」や「クリティカルシンキング」、「デザイン思考」という言葉は聞きなじみがあるかもしれませんが、このような思考法は社会が変化するにつれて新しい思考法が生まれます。この本では、「アート」が思考するうえで、役に立つという内容です。  
本の一部を紹介すると、「自分の主張」に対して、「なぜ、そう思うのか？」と問い続けながら、「自分の主張」を価値のあるものにしていくという内容です。「一体、どのように役に立つのか。」と疑問を持つと思います。そんな疑問を持った人にこそ、本の中で出されるいくつかのワークショップを通して、「アート」のすばらしさに触れてほしいと思います。  
是非、ご一読を！

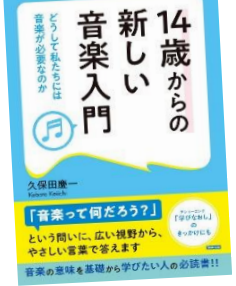
すえなが ゆきほ  
**末永 幸歩 豆知識**  
武蔵野美術大学造形学部卒、東京学芸大学大学院教育学研究科（美術教育）修了。東京学芸大学個人研究員。中学校・高等学校の美術教師を経て、現在は様々な教育活動にアドバイザーとして携わるほか、全国各地でのワークショップ、執筆などを通してアートと社会をつなぐ活動を行っている。……  
出典:「みんなの教育技術」内『協力者』より <https://kyoiku.sho.jp/collaborator/142160/>



★福島 伸典(フクシマ シンスケ)先生の紹介★  
\*担当科目・クラス  
英語コミュニケーション I (高1年5・8・9組)  
英語演習(高3年2組(文系)、3組)  
\*星座→うお座  
\*趣味→映画鑑賞、旅行  
\*自分の中学・高校生活  
毎日、友達と遊んでいました。  
\*本校生の印象  
挨拶の文化が根付いている。  
\*感動した本  
「モモ」ミヒヤエル・エンデ[著] 岩波書店  
\*中学・高校時代に読んでおくことが望ましい本  
「こころ」夏目漱石[著] 新潮社[他]

## 「今」から羽ばたく興味の翼 図書館所蔵関連図書

- 13歳からの考古学シリーズ 堤隆【他】[著] 新泉社  
旧石器時代、縄文時代、江戸時代……本シリーズは最前線に立つ考古学研究者が書いた物語です。精密な口絵やガイドはもちろん、それぞれの主人公のスリリングな冒険を通し、きっと考古学の楽しさに出合えることでしょう。
- 園 大人はアカン！ 大阪弁こども万葉集 中村博[著] JDC出版  
恋の和歌も多い万葉集。こどもたちに万葉集の面白さを伝えるべく、やさしく、万葉の時代の和歌を訳すのに最も適した「お国ことば」である大阪弁の五七五七七で表現した現代語訳。万葉和歌のところがわかる究極の1冊。
- 14歳からの新しい音楽入門 どうして私たちには音楽が必要なのか 久保田慶一[著] スタイルノート  
世の中にあふれている「音楽」とは何なのか。本書で書かれていることは、音楽の学び方であり、音楽の聴き方であるが、これらを参考に、あるいはきっかけとして、いろいろな本を読み、様々な演奏を聴いてみよう。



中学生から身につけておきたい賢く生きるための金融リテラシー 子どもの学び編集部[著] ジャムハウス  
お金に関わるやりとりは大人になってからもトラブルがつきもの。トラブルに巻き込まれず、お金とうまく付き合っていくために、本書では金融リテラシー（お金に関わる適切な知識と判断力）を身につけるための知識や考え方を取り上げています。

編集後記：どんなことでもそうですが、「始めさえすればたちまち何かの成果が出る」というものは多くありません。しかし、読書の経験が「役に立つ時が訪れる」ということは多々あります。いつかの未来のあなたのため、1冊（あるいは、よろしければもっとたくさん！）の本を、秋の夜長に読んでみてください。